

ぎ かい の 柱

NO.66 令和2年8月1日号

6月定例会などの内容をお伝えします。



CONTENTS

- 特集「防災に携わる人
×市議会」…P2～3
6月定例会の審議……………P4
人事案件／請願・陳情……………P5
常任委員会審査報告……………P6～7
議会全員協議会……………P7
一般質問……………P8～11
議員連盟総会……………P11
臨時会……………P12
議会中継の視聴の仕方……………P13

特集 みんなの声
「防災に携わる人×市議会」

特集 みんなの声

防災に 携わる人

市議会

地域防災の担い手として

2回目となる今回は、令和2年6月19日に北秋田市消防団・第6分団の皆様から、活動内容や災害への対応、市議会と北秋田市へ要望などについて伺ってきました。

議員 消防団へ入団した動機をお聞かせ下さい。

武石 祖父が団員であった。先輩から誘われた。

佐藤 結婚と同時に入団。地域の支え手として活動したかった。

高橋 消防団の幹部から強引に勧誘された。

安部 地域との関わりを求めて入団した。

三浦 加入していた商工会の青年部に団員が多くその方々から誘われた。

議員 主な活動内容を教えてください。

高橋 春秋の防火週間に予防活動を行うことや、

定期的に各集落を巡回して注意喚起を行っている。

また、毎年行われる消防訓練大会へ向け終業後や休日に練習を行っている。

他の分団と比べると活動量は多いと思う。

議員 記憶に残っている災害について伺います。

三浦 平成19年の豪雨災害。李岱の火災（3件焼失）。

安部 平成19年の豪雨災害。特に、当時合川保育

園の保護者会の会長であったため、床上まで浸水した園内の掃除や片付けが大変であった。

高橋 平成19年の豪雨災害。

佐藤 初めて火災で出動した際に、消火後の現場保存のため朝まで交代で見張ったことが、今でも思いだされる。

武石 数年前に発生した店舗火災。火の勢いが強く恐怖を感じた。

議員 消防団員の減少について伺います。



高橋 自分が入団した時は半ば強制であった。時代の移り変わりとともに、働き方も変化したので自然と入団者が減ってきたと思う。加入する場合は、居住地に関係なくどの分団に入ってもよい。特に若い方の入団を望みます。

議員 議会のイメージや



要望、そして市に望むことを伺います。

武石 議会はなじみがないのでよくわからない。市に対しては子育ての施策が充実しているので、若者定住のため更に工夫して取り組んで欲しい。

佐藤 市議会議員の活動には注目をしている。市に対しては特に不満を感じていない。期待している。

高橋 議会は以前と比べるとネット配信などが行われて親しみやすくなった。一般質問の内容が同じ場合があるので、できれば調整や工夫ができれば。市に対しては、若い方へ入団を働きかけして頂きたい。

安部 市は面積が広大なので、多くの市民の声を

反映させるには議員定数が少ないのではないかと。市に対しては若い方が少なく、なかなか意思疎通を図る機会が少ないので、更なる活性化に取り組んで頂きたい。

また、子供たちが地元で働きたいと思えるように、自分なりに市内企業をアピールしたい。

取材を終えて

地域防災の担い手として責任感と使命感を強く感じ取ることができました。私たち市民の皆様のと財産を守るためより一層の努力を誓いました。

一般会計補正予算 9億5189万8千円増 総額 275億5354万9千円



6月定例会の主な議事

- 令和2年度一般会計補正予算
- 北秋田市職員の特殊勤務手当に関する条例及び北秋田市消防職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 工事請負契約の締結について
統合鷹巣中央南小学校大規模改造工事（建築工事）

令和2年北秋田市議会6月定例会は、6月11日（木）から6月23日（火）までの13日間の会期で行われました。6月定例会では、条例案4件、予算案8件、その他議案等1件、陳情4件、16日に提出された予算案1件、最終日に提出された人事案件など7件が審議され、全てが可決、採択、同意されました。

また、新型コロナウイルス感染防止のため、出席者はマスクを着用し、議員席には仕切りを設置しての開催となりました。

主 な 事 業	補 正 予 算 額
北秋田市基幹相談支援センター事業	11,567千円
森と木とのふれあい空間整備事業	1,600千円
校内通信ネットワーク導入事業	111,320千円
学習者用コンピュータ(Wi-Fiタブレット)購入費	74,256千円
地場産品発送業務委託	25,245千円
中小企業事業継続支援事業	49,925千円
宿泊者半額応援事業	53,880千円
北秋田市が誇る観光文化施設無料招待事業	15,862千円
新しい生活様式への対応支援事業	12,750千円
スーパープレミアム付き応援チケット事業	525,000千円

人事案件

6月定例会に人事案同意案件が追加提案され、次のとおり同意することに決定しました。

監査委員の選任について

山形 聡 伸 氏（再任）

農業委員会委員の任命について

檜 森 正 氏（新任）
 中 嶋 力 藏 氏（再任）
 武 石 修 一 氏（新任）
 澤 藤 匠 氏（新任）
 長 崎 成 人 氏（再任）
 金 俊 英 氏（再任）
 長 崎 直 人 氏（新任）
 堀 部 栄 一 氏（新任）
 成 田 博 幸 氏（新任）

近 藤 裕 太 氏（新任）
 佐 藤 邦 久 氏（新任）
 三 沢 博 隆 氏（再任）
 佐 藤 政 信 氏（新任）
 後 藤 久 美 氏（再任）
 宮 腰 文 義 氏（再任）
 藤 島 喜 美 男 氏（再任）
 長 岐 一 志 氏（再任）
 佐 藤 利 子 氏（再任）
 長 岐 正 氏（再任）
 杉 渕 光 則 氏（再任）
 金 田 悦 子 氏（再任）
 齊 藤 富 美 雄 氏（再任）
 堀 部 聡 氏（新任）
 伊 藤 鶴 一 氏（新任）
 三 浦 和 憲 氏（再任）
 松 橋 利 彦 氏（再任）
 木 村 正 彦 氏（再任）
 鈴 木 豊 氏（新任）

坊沢財産区管理委員の選任について

土 濃 塚 謙 一 郎 氏（再任）
 若 松 一 幸 氏（再任）
 佐 藤 稔 氏（再任）
 簾 内 豊 氏（再任）
 武 田 響 一 氏（新任）
 三 澤 敏 行 氏（再任）
 伊 東 誠 子 氏（再任）
 佐 藤 茂 延 氏（再任）
 佐 藤 篤 史 氏（再任）
 長 崎 正 史 氏（再任）
 津 谷 静 正 氏（再任）
 寺 田 良 美 氏（再任）
 津 谷 繁 美 氏（再任）
 戸 嶋 廣 實 氏（再任）
 戸 嶋 正 志 氏（新任）
 佐 藤 吉 美 氏（再任）

皆さまからの請願・陳情と意見書提出

件 名	請 願 ・ 陳 情 者 氏 名	結 果	意 見 書
教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	秋田県教職員組合 執行委員長 櫻田 憂子 秋田県教職員組合 大館北秋支部 支部長 永瀬 知己	採択	提出
日米地位協定の抜本的な見直しを求める意見書の採択	秋田県平和委員会 代表理事 川野辺 英昭	採択	提出
地方財政の充実・強化を求める意見書提出についての陳情	連合秋田大館地域協議会 議長 山内 一滋	採択	提出
秋田県主要農作物種子条例の制定をもとめる陳情書	食と緑、水を守る秋田県労農市民会議 議長 石田 寛	採択	提出

総務文教常任委員会

小中学校にタブレット購入

本委員会に付託された事件は、条例案2件、予算案2件、単行議案1件、陳情3件の計8件です。

特殊勤務手当に関する条例案では、委員から「コロナの感染症が事後であつても陽性と判断された場合は、遡り手当するということがよいのか」との質疑があり、当局からは「作業に従事した後には陽性反応と分かる場合が考えられるため、遡つての適用となる」との答弁がありました。以上のような審査を踏まえ、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

また、補正予算案については総合政策課関係で委員から「地域おこし協力隊について、採用時期をいつ頃想定しているのか」との質疑に、当局からは「7月に1名採用する予定としている。予算がつけば、さらに2名を募集する予定である。最大5名になることも考えられる」との答弁がありました。

した。

財政課関係では、マイナポイントについて、「市民へはどのような内容で周知するのか」との質疑に、当局からは「なるべく細かく対応したいと考えている」との答弁がありました。

教育委員会関係では、校内通信ネットワーク導入委託費1億1132万円と学習者用コンピュータ購入費7425万6千円について、委員から「今回購入する端末は児童生徒用とのことだが、教師用の端末は現在あるもので対応できるのか」との質疑があり、当局からは「学習者用のコンピュータが対象。セキュリティの関係で、現在使っている教師用回線とは別に学習者用回線を構築するものである」との答弁がありました。以上のような審査を踏まえ、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決しました。

(委員長 大森 光信)

市民福祉常任委員会

交付手数料は全て同一料金

当委員会に付託された事件は、条例案2件、予算案7件の計9件でした。

北秋田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について、委員から「手数料はコンビ二交付と窓口交付で同じ金額なのか」との質疑があり、「手数料は同じ金額が設定されている」との答弁がありました。

北秋田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定については、委員から「なぜ、この定例会に提案されたのか。専決処分や臨時議会で提案しなかった理由は」との質疑があり、「国で介護保険法施行令改正が令和2年3月30日であり、3月定例会での提案は出来なかった。今年度の介護保険料は7月に決定することから、この議会に提案しても業務に間に合うと判断した」との答弁がありました。

障がい者等の相談
支援充実を図る

令和2年度北秋田市一般会計補正予算では、委員から「基幹相談支援センター事業委託の具体的な内容と委託時期については」との質疑があり、「障がい者等の相談支援を総合的に行う中核的な役割を担う機関として、地域福祉センターの2階を想定。委託時期は7月1日を目指しています。」との答弁がありました。

以上の審査を踏まえ、全ての議案を全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

(委員長 佐藤 文信)



基幹相談支援センター

3つの常任委員会

産業建設常任委員会

市内活性化へ緊急経済対策

当委員会に付託された案件は、予算案4件、陳情1件の計5件でした。

議案第80号一般会計補正予算「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」について当局より説明があり、

事業継続支援金の拡充については「理美容、鍼灸・マッサージ、接骨、整体、柔道整復の各事業者の拡充と県の補助が該当しない第3セクターへ補助する」。

宿泊者半額応援事業については「秋田県民を対象に市内宿泊施設に宿泊した場合に、宿泊費の半額を補助する」。

地場産品発送業務委託については「市内宿泊施設に宿泊した利用者に地場産品の比内地鶏関連商品をプレゼントする」。

スーパープレミアム付応援チケットについては「市内の消費を刺激し、店舗の継続と消費活性化を図る目的で1セット1万円で1万5千円分のチケットを1世

帯5セットまで販売する」。

観光文化施設無料招待については、「不要不急の外出行が続き、ストレスを感じている市民に気分転換の機会を提供するため市内6施設を無料とする」。

新しい生活様式への対応支援事業については「新しい生活様式を取り入れ、宿泊や飲食、買い物ができる環境を整備するための助成をする」と説明を受けました。

審査の結果「緊急経済支援事業について、経済回復に大いに役立ち、かつ低所得者を含め、幅広い市民に喜ばれる政策を引き続き講じられたい」と付帯意見を付け全会一致で可決すべきものと決しました。

その他の予算案3件は全て全会一致で可決すべきものと決しました。

陳情第31号秋田県主要農作物種子条例の制定を求める陳情書は全会一致で採択すべきものと決しました。

(委員長 堀部 壽)

議会全員協議会

第1回議会全員協議会が市議会からの要請により4月27日に開催し「新型コロナウイルス感染症対策について」の説明を受けました。

当局からは現在までの対応について「2月10日に北秋田市警戒室を設置し、その後、北秋田市警戒部を経て、北秋田市対策本部に改組し、3月26日に新型コロナウイルス対策特別措置法に基づく新型コロナウイルス対策本部を設置した。4月1日には市独自施策となる中小企業振興資金補償制度(新型コロナウイルス対策特別枠)の運用を開始。4月22日には特別給付金の支給、緊急経済対策の企画立案、相談窓口を担当する新型コロナウイルス感染症緊急対策室を設置した」と説明がありました。

また、当局から今後の予定について「国の補正予算が成立後、特別定額給付金を含めた補正予算を専決し、5月中旬には申請書類の発送、5月下旬からは支払いを開始する

予定」と説明がありました。

第2回議会全員協議会を5月25日に開催し「管外の所管事務調査、政務活動費などについて」の協議を行いました。管外の所管事務調査については、各委員長から「県外への行政視察の中止はやむを得ない」などの報告があり、今年度はすべての委員会で行わないこととしました。

政務活動費については、各会派の代表者から「返還した方が良い」、「議員活動を行い、市民に還元していくべき」などの意見や、「寄付行為にあたる可能性もあるとの見解もある」として、市議会としては「統一した行動はしない、各会派、議員個人の判断に委ねる」としました。

また、一部の会派からは「議員報酬又は6月の期末手当の一部をカットしては」との意見がありましたが、全議員の賛同を得ることができず、今後、会派等で協議を続けることになりました。

活かそう市民の声 市政を問う! 一般質問

市職員の処遇改善と 人員の拡充を

三浦 倫美
(日本共産党議員団)

(日本共産党議員団)



QRコード 動画へ

Q 市民の暮らしを守る市行政は、市職員の心身の健康あつてこそです。コロナ対策等、膨大な業務の加重負担。疲弊や感染での行政の機能不全を防ぐため処遇改善と人員拡充を。

A 業務変化は会議集会、イベント等の中止や縮小。在宅勤務、県外出張中止等。小中学校臨時休業により子どもの世話のための休暇制度を職員、会計年度任用職員とも給与や手当に影響ないよう整備。休業で出勤停止のサポート員には、出勤日を夏休み短縮で確保し希望で放課後児童支援として勤務できるよう対応。

4月22日に新型コロナウイルス感染症緊急経済対策室を設



コロナ対策全庁連携し対応

置し、職員6名と会計年度任用職員4名を新たに配置。給付金事業の作業は延べ100人以上の職員が対応し6月12日現在97・6%の給付を終了しています。

職員の業務時間を把握し、長期化も想定しながら必要な人事異動と職員適正化計画の範囲内で職員配置を検討しています。また、本定例会に職員の防疫等作業手当を支給する条例改正を提案し、職員の処遇改善も適宜対応いたします。

コロナ対策十分に

板垣 淳
(日本共産党議員団)

(日本共産党議員団)



QRコード 動画へ

Q 感染拡大を防止する医療体制の構築を。

A 市民病院の駐車場にドライブスルー方式で医師の問診やPCR検査を受けられる診療所を設置する。

Q 市民への経済支援は順調に進んでいるか。

A 順調。うち10万円給付金は98%に給付し、これのオンライン申請は172件だった。

Q 172件というと世帯数の1%強。99%の人はマイナンバーカードを使わなかった。なぜだと思

か。

A 使いづらいからだと思う。

Q 地域経済の落ち込みは想像以上に深刻だ。もっと経済支



ドライブスルー仮設診療所

援を行うべきと思うが。

A スーパープレミアム応援チケット、宿泊半額応援事業、地場産品消費応援事業など6事業を考えている。

Q 首相の要請により一斉臨時休校したが、先の戦争の反省に立ち、教育は政治から独立したはず。それがいとも簡単に右ならえした。妥当だったか。

A 要請に基づいたものではあるが、市教育委員会として最終判断した。

敬老式は中止に なりました

中嶋 洋子(みらい)



QRコード 動画へ

Q 緊急事態宣言解除後の施策。新しい生活様式を市民に伝えるには。

A 治療法の確立や効果的なワクチンの完成までは、第2波、第3波の到来が懸念されており、長丁場に備えた感染防止対策を図る必要がある。人と接触する機会

の多い事業者には、その対策経費の一部を助成するほか、広報・新聞・ホームページ・防災ラジオ等で周知を図る。

Q 鷹巣中央小と鷹巣南小の統合校名は。

A 両小学校区に住む全ての人を対象に、3つの校名から1人1票で再度投票してもらい、最大得票のものを統一案にする。

Q 敬老式について。参加者の安全を

確保するのは困難であると判断、今年度の開催は中止とする。

Q 新型コロナウイルス感染防止で学校の手洗いや消毒液を。

A 給湯設備や自動水栓等について財源を確保し、設置を検討する。

Q 合葬墓の設置は。市では今のところ、市民からの問い合わせがないことと市営墓地に余裕があることから、整備する計画はない。市民アンケート等で今後の方向性を検討する。



統合校となる南中校舎

災害時の感染症

対策について

久留嶋 範子
(日本共産党議員団)



QRコード 動画へ

Q 感染症対策を盛り込んだ災害時の避難所運営、マニュアルの見直しを検討していると思うが、どのようになってるか。

A 県は5月に新型コロナウイルス対策としての災害時避難所運営マニュアル作成指針を発出。これを基に改定し避難所運営体制を構築していきます。

Q 市民の声を市政に反映させるため、暮らしの状況アンケート調査を実施してはどうか。

A 現状においてはアンケート調査より急ぎの案件は電話やメールでも結構なので、遠慮なく寄せていただき対応したい。

Q 全世帯へ貸与された一年が経過した防災ラジオ。利用状況



全世帯へ貸与の防災ラジオ

の把握や今後の改善点など検証が必要ではないか。

A 3月末現在の貸与台数は8957台で普及率は71・3%。前年度比1・4%増加した。令和元年度の放送回数は258回だった。

Q 鷹巣中央小と鷹巣南小の統合校名について、3月以降の状況は、どうなったのか。

A 6月5日に第5回統合準備委員会を開催し、決定の方法等について確認したところです。

プレミアム

商品券の発行を

佐藤 光子(みらい)



QRコード 動画へ

Q 疲弊した市内経済をV字回復させるためにプレミアム率の高い券の発行は有効な支援策と考えるが、北秋田市としても飲食や宿泊に限らず幅広く利用できるプレミアム商品券の発行をしてはどうか。

A 業種を問わずに申込みのあった全ての店舗で幅広く利用することができるとして、市内の消費拡大と3月から落ち込んでいる市内の景気にてこ入れしたい。

Q 学校のICT環境の整備により、家庭学習への支援として考えられることは。

A 新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波が訪れた場合は、家庭学習にどん

な支援ができるのかの検討が必要と考えられており、各家庭のネット環境等の調査を行っております。

Q ICT支援員の活用について。

A 現段階では考えていませんが、国や県の動向を注視してまいります。

Q 鷹巣南・中央小統合校名について。

A 令和3年4月には新しいスタートをしっかりと切れるよう進めてまいります。

Q 合川公民館の解体及び新築について。

A スケジュールを組み直し、皆様にお示しします。



プレミアム商品券

大館能代空港

羽田3便化実現

長崎 克彦(無党派)



QRコード 動画へ

Q 平成の大合併から15年経過した。この期間で人口の減少、高齢化はどう変化したのか。また、中心市街地の商店等も閉店が余儀なくされている。

A 現在の人口は3万1200人余りで、9千人の減少、年6百人程減っている。高齢化率は32・9%から43・7%、15年で10・8%上昇している。車社会、大型商業施設の進出、ネットショッピングで小売店舗での販売が困難になっている。

Q 1次産業も高齢化、後継者不足にどう対応していくのか。

A 市単独の助成とスマート農業も重視する。

Q 大館能代空港が羽田まで3便化(期間限定)になった。関係団体等と協議しながら高速道のインターと直結している空港としてどう生かすのか、また、永續させるため運賃助成の延長も考慮すべきと考えるが。

A 最近は搭乗者も多く、今後は物流面も期待しながら、イン・アウト、いずれもコースに組み入れやすくなると考えている。また、利用者を増加するため助成措置の期間延長と助成額についても考慮する。



大館能代空港

秋田比内地鶏 在庫への支援を

杉淵 一弘（新創会）



QRコード 動画へ

Q 秋田比内地鶏の生産振興についての取組み状況は。

A 簡易鶏舎設置や電気柵等への助成は県と市が費用を助成する比内地鶏大規模モデル経営体育成事業および農業夢プラン応援事業等を検討いただいている。また、電気柵のほか、素雞購入費の助成についても市の単独事業を要しています。

Q 秋田比内地鶏の在庫過剰解消に向けての支援について。

A 県の比内地鶏需要回復緊急対策事業を活用し、市としても、市内学校給食でも食材利用を図るため、6月の献立に採用することを決定しているほか、経済対策第2弾としても市内に宿泊した利用者



過剰在庫解消に向け

に対し、様々な比内地鶏商品のプレゼントする事業を含め、市独自の支援策の検討を進めています。

Q 地域コミュニティ生活圏形成事業の取り組み状況は。

A 複数の集落で日常生活圏を形成し、日常生活に必要なサービス維持、確保及び周辺集落との交通ネットワーク確保などを目的とした県の事業で、当市では生活圏として8地区を想定しています。

コロナ影響の 企業に支援を

蛇川 敬（新創会）



QRコード 動画へ

Q 新型コロナウイルス感染症の影響に厳しい経営環境に直面している中小企業へ対しての北秋田市としての市税等の減免はあるか。

A 市内の厳しい経営環境に直面している中小事業者に対し、令和3年度課税の1年分に限り、令和2年2月から10月までの任意の3か月間の売上高が前年の同期間と比べて30%以上50%未満減少している場合には2分の1、50%以上減少している場合には全額を免除するという、償却資産及び事業用家屋に係る固定資産税を売上高の減少幅に応じて軽減する特例措置があります。

Q コロナウイルス感染防止に対する設



経済にも影響を及ぼすコロナ

備改修を行っている事業所にそれらに対する補助金等の検討は考えられないか。

A 政府が推奨する新しい生活様式を日常に取り入れ市民や市外から訪れた方々が安心して宿泊や飲食等ができる環境を整えていただく必要がある中で、人との接触機会の多い事業所に対してはアクリル板、ステイマーク、消毒液など感染症予防対策の整備に係る費用を支援する事業を検討しています。

事業者の意向を 反映した支援策を

山田 博康（無会派）



QRコード 動画へ

Q 阿仁地区の大切な文化遺産であるマタギは観光誘客を含む情報発信の手段として、大きなインパクトがありますが、日本遺産登録を含め、関係地域住民と共にいかに継承していくかについて真剣な取り組みが必要と考えるが見解は。

A 市独自の施策としては、マタギの継承や担い手確保の面から、地域おこし協力隊の採用やマタギを移住、定住に関連づけたPRを行い、徐々に成果がみられ、引続き関係部署が一丸となって取り組んでいます。阿仁マタギは当市にとつて誇れる文化であり、重要な観光資源と認識しており交流人口の拡大に向け継続し、

取組んでまいります。

Q コロナ騒動による外出自粛要請により、最も経済的ダメージの大きい宿泊、飲食業者に対する支援として職員が足を運んで実態調査をするべきと考えるがどのような対応をしたか。

A 事業者の実態調査については5月下旬から事業継続給付金の申請が始まり、多くの事業者が書類を直接窓口を持参している。そのような機会に経営状況などの実態把握に努めています。



自家所有 山達根本巻物

コロナ下の災害避難所

整備を急げ

福岡 由巳（無党派）



QRコード 動画へ

Q 合川地区の避難所に合川公民館、合川小学校が含まれているがどういふ災害を想定しているか。

A 1000年に1度の水害のハザードマップが国、県等で公開するようになった。それを踏まえて見直しをしたい。

Q 合川駅前合川駅前公民館が解体予定、サンシャイン合川は既にある。昨年代替としてセントラル合川と答弁しているが、コロナ禍のなかでは狭すぎる。他の地域も似ている避難所を新築する計画も必要でないか。

A 最初から避難所のためだけの建設は検討していない。

Q 「きらり・きたあきた」について、明治、昭和、平成、

3つの大合併による地図が示されている。同じか。

A 同じとらえて

Q 昭和の大合併で旧七座村は鷹巣町と二ツ井町に分村した。他にも誤りがあるかもしれないのでその都度修正していきたい。

Q 問題ある答弁と思う。こういう立派な本を出版しながら正誤表を出さないで修正を重ねるだけでは無責任でないか。

A 正誤表等は検討していききたいと思う。



立派な装訂だが問題がある

北秋田市議会「伊勢堂岱遺跡」世界遺産登録推進議員連盟

林産業活性化の 実現に向けて

令和2年度北秋田市森林・林業・林産業活性化議員連盟の総会が5月27日に開催されました。

本会は、北秋田市の森林、林業、林産業の活性化の実現に向けて活動することとし、議員全員（20名）で構成されています。

【事業計画】
・森林の整備、林業、

木材産業の振興及び地域の活性化に関する調査を行い、市はもとより、県連絡協議会を通じて、国、県等関係機関に対して要望活動を行う。

・木材産業を取り巻く現状を把握し、活性化に向けた方策を探るための事業を行う。
・森林、林業、林産業などに関わる制度や施策などの最新の情報を把握し、理解を深める。

世界文化遺産への 早期登録を推進

令和2年度北秋田市議会「伊勢堂岱遺跡」世界遺産登録推進議員連盟の総会が6月23日に開催されました。

本会は「伊勢堂岱遺跡」の世界文化遺産への早期登録を推進することを目的とし、議員全員で構成されています。

総会では、世界文化遺産への早期登録推進



世界遺産登録を目指す伊勢堂岱遺跡

するための調査研究や関係自治体・機関との連携などを盛り込んだ令和2年度事業計画案と予算案が承認されました。

秋田内陸縦貫鉄道 北秋田議員連盟

さらなる 利用促進に向けて

令和2年5月27日、秋田内陸縦貫鉄道北秋田議員連盟の定時総会が開催されました。

定時総会では、令和元年度の事業報告と決算報告、令和2年度の事業計画案と予算案が承認されました。

等により、インバウンドの観光客のみならず、県内外からも誘客に効果が始めているところ、折からのコロナウイルス感染症の感染拡大により、利用者が激減し、非常に厳しい経営が強いいられている。当会としても、市内経済と同様に今後の同鉄道の沿線について注視し、同線活性化のため、定時総会の実施、同鉄道および沿線の研究を行う」としました。

商業の発展と 改善に向けて

令和2年5月27日、北秋田市議会商工会活動支援議員連盟の定時総会が開催されました。

本会は、市内商工業者への幅広い活動を行っている北秋田市商工会を支援することを目的とし、議員全員で構成されています。

総会では、令和元年度の事業報告と決算報告、令和2年度の事業

計画案と予算案が承認されました。

【事業計画】
・地元商工業者の最新の取り巻く現状を把握し、北秋田市商工会への支援活動を行う。
・地元事業者が将来にわたって事業を継続、発展のための調査研究・地域振興事業など地域活性化のための、にぎわい創出や地域資源を活かした地場産品の販路開拓強化への理解・新型コロナウイルス感染症による影響把握と商工関連支援策

臨時会

第1回臨時会

令和2年第1回臨時会が5月20日に開かれ承認9件、条例案2件、予算案2件、単行1件の計14件が上程され全て承認、可決されました。

専決処分承認の令和2年度一般会計補正予算については、特別定額給付金、子育て世帯臨時特別給付金などを含む31億8066万2千円を追加したとの説明がありました。

また、令和2年度一般会計補正予算については、新型コロナウイルス感染症に伴う事業として中小企業事業継続支援事業補助金、緊急子育てサポート給付金・学生生活支援臨時給付金などについて説明がありました。

第2回臨時会

令和2年第2回臨時会が5月27日に開

かれ条例案1件が上程され可決されました。

市長、副市長と教育長の給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定については、新型コロナウイルスに伴う社会経済情勢を考慮して市長、副市長と教育長の6月期末手当全額を減額するものと説明がありました。

このあとの討論では反対と賛成の立場から、それぞれ発言があり、起立採決の結果、賛成多数で可決されました。

第3回臨時会

令和2年第3回臨時会が7月10日に開かれ、条例案3件、予算案1件、単行1件の計5件が上程され、全て可決されました。

令和2年度一般会計補正予算については、新型コロナウイルスに

ル感染症に伴う予算として、秋田内陸線総合緊急支援事業費負担金、大館能代空港利用促進事業補助金、公共交通事業者事業継続支援事業補助金、高速バス利用促進事業補助金、観光交通事業者等事業継続支援事業、推奨品目等販売促進事業の拡充、比内地鶏応援ありがとう事業、畜産農家経営支援事業、園芸農家経営支援事業、産直施設出荷農家応援事業、木材需要拡大緊急対策事業、低所得のひとり親世帯への臨時特別給付金、市有施設への洋式トイレ便座除菌クリーナー設置事業、学校における感染症対策事業、生涯学習施設感染症対策事業など23事業について説明があり、合計1億7026万円が計上されました。

また、合川公民館の解体と新築工事のため実施設計委託費など2億337万7千円が計上されました。条例案については、国民健康保険税及び介護保険料について、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した被保険者の減免について令和2年2月1日以降の納期限のものにも適用するため条例の改正を行う、また、合川公民館の改築工事に伴う農村環境改善センターと合川駅前公民館の廃止について説明がありました。

議会運営委員の辞任・選任

松尾秀一議員から3月31日に議会運営委員の辞任願が議長に提出され、許可されました。

これに伴い、第1回臨時会で議長の指名により、虻川敬議員が議会運営委員に選任されました。

賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥

議 案 名	所属党派・議員氏名 採決結果	採決結果	新創会					みらい					緑風・公明			共産党議員団			無会派		
			佐藤重光	虻川敬	杉淵一弘	佐藤文信	松尾秀一	松橋隆	佐藤光子	大森光信	中嶋洋子	黒澤芳彦	堀部壽	小笠原寿	武田浩人	関口正則	板垣淳	三浦倫美	久留嶋範子	山田博康	福岡由巳
【令和2年第2回臨時会／令和2年5月27日採決】																					
議案第66号 北秋田市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	▼	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○

※全会一致の可決、採択については除いています。

※議長は、過半数で議決すべき場合には、法第116条第2項で「議員として議決に加わる権利を有しない」とされているため、議長は採決には加わりません。

議会を傍聴してみませんか？



市議会では、皆様の生活に直結した重要な問題を審議しています。どなたでも本会議を傍聴することができ、市議会の活動状況をご覧いただけます。

皆様に関かれた議会を目指しておりますので、傍聴される多くの方々をお待ちしております。

本会議の生中継や録画映像が スマートフォンやパソコンなどでご覧になれます

スマートフォン・タブレット等でご覧になる場合(QRコード)

- ①QRコード読み取りアプリを起動して
下のQRコードを読み取る



生中継・録画映像
配信先QRコード

※会派代表質問や一般質問のQRコードを読み取ると直接録画映像がご覧になれます。



- ②再生ボタンをタップ



パソコンでご覧になる場合

〔北秋田市ホームページ〕



- ①メニューをクリック



- ②北秋田市議会
をクリック

- ③北秋田市議会
をクリック

〔議会中継のページへ〕



- ④再生をクリック
(本会議の生中継がご覧になれます)

市議会へのご意見をお寄せください

《市議会では、議会活動の活性化を図るため、市民の皆さんのご意見を募集しています》

- 対象 市内在住者又は通勤通学している人
- 方法 手紙、FAX、メールなど
(文字で読める形式のもの)
- 公表 ご意見をホームページや広報紙で
公表する場合があります。

- あて先 〒018-3392
北秋田市花園町19番1号
北秋田市議会事務局
- メール gikai@city.kitaakita.akita.jp
- FAX (0186) 62-4845

特集「防災に携わる人×市議会」に参加いただきました 北秋田市消防団 第6分団のみなさんをご紹介します



全国市議会議長表彰 9名の議員が表彰



第96回全国市議会議長会定期総会において2名の議員が15年以上在職者として、7名の議員が10年以上在職者として表彰を受けました。表彰を受けた議員は次のとおりです。

15年以上在職者 福岡 由巳議員、中嶋 洋子議員

10年以上在職者 関口 正則議員、堀部 寿議員、久留嶋 範子議員、
武田 浩人議員、小笠原 寿議員、大森 光信議員、佐藤 光子議員

広報特別委員会

委員長 杉 渕 一 弘
副委員長 三 浦 倫 美
委員 蛇 川 敬
佐藤 光子
武田 浩人
佐藤 重光

次の定例会は9月の予定です

各常任委員会の会場

総務文教（森吉庁舎）
市民福祉（合川庁舎）
産業建設（阿仁庁舎）



北秋田市議会

検索



<https://www.city.kitaakita.akita.jp/genre/shigikai>

©1976, 2020 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL NO. G603868

市議会だより ぎかいの杜 14